

アオガネシダ	<i>Asplenium wilfordii</i> Mett. ex Kuhn	絶滅危惧Ⅰ類
		チャセンシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が崩落しやすい急峻な岩場という不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村瀬正成) 標本 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く斜上し、葉身は2-4回羽状複生。葉柄は表面が暗緑色で裏面は黒褐色。羽片には柄がある。	
生態的特徴	山林中の岩上に着生する。	
分布状況	本州(埼玉県以西)から沖縄に分布する。岐阜県では県南中部に分布する。	
減少要因	山林開発、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。	
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控える。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意せねばならない。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成